

# 用語集

---

## 〈あ行〉

- アセットマネジメント  
資産管理手法の一つで、水道事業では、施設の維持管理の適正化を図って、施設の延命化を図り、生涯費用の最小化と費用の平準化を目指す維持管理の方法をいう。
- 1日最大給水量  
年間の1日給水量のうち最大の水量のこと。
- 1日平均給水量  
年間の総給水量を年日数で除したものの。
- エアレーション処理  
曝気処理ともいう。pH値の上昇、水中に容存する鉄の酸化、硫化水素などの不快な臭気物質の除去、水中の揮発性物質の除去などの効果が期待できる。
- 応急給水  
配水施設、その他の故障などにより水道による給水ができなくなった場合に、給水車その他の運搬具を用いて水道使用者に水を供給すること。

## 〈か行〉

- 活性炭吸着  
有機物の除去に極めて有効な方法で、異臭味物質、残留農薬、フェノール類などの微量有害物質や、合成洗剤、色度成分、トリハロメタン前駆物質などの処理に用いられるが、親水性の強い糖類やアルコールなどはほとんど除去できない。
- 緩速ろ過  
原水が比較的きれいな場合に適するもので、通常、普通沈澱池で原水中の懸濁物質を自然沈下により沈澱除去した後に、緩速ろ過池で1日4~5mのろ過速度でろ過し、さらに塩素消毒を行う浄水方式。

# 用語集

---

- 企業債

地方公営企業が行う建設改良事業等に要する資金に充てるために起こす地方債のこと。

- 給水人口

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいう。給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口に含まない。

- 給水量

給水区域内の一般の需要に応じて給水するため、水道事業者が定める事業計画上の給水のこと。

- 急速ろ過

原水中の懸濁物質を、化学薬品である凝集剤を用いてまず凝集沈澱処理し、残りの濁質を1日120～150mの早い速度の急速ろ過池でろ過し除去する方法。

- 凝集沈澱

薬品の力を借りて凝集と沈澱を行う方法。急速ろ過のろ過機構では捕捉できないコロイド状の濁質を、薬品である凝集剤で捕捉できるように濁質の性状を変える凝集と、凝集によって大きく重く成長したフロックの大部分を沈澱池で沈降分離する沈澱の二つの要素から成り立っている。

- 業務指標（PI）

水道サービスの目的を達成し、サービス水準を向上させるために、水道事業全般について多面的に定量化した137の指標のこと。

- 緊急遮断弁

地震や管路の破裂などの異常を探知するとロックやクラッチが解除され、自動的に自重や重錘又は油圧や圧縮空気を利用して緊急閉止できる機能を持ったバルブ。

# 用語集

---

- 混和池

凝集沈澱処理では、凝集剤を注入した後に直ちに急速なかくはんを与えて凝集剤を原水中に均一に行き渡らせる必要がある。このための混和施設のこと、急速かくはん槽、急速かくはん池、急速混和池、薬品混和池ともいう。

- クリプトスポリジウム

原生動物の原虫類に属する水系病原性生物である。その原虫に感染した症状は典型的な水様性の下痢であり、発汗、腹痛、けいれん様腹痛がある。特に子どもでは吐き気や嘔吐、39度ほどの発熱を伴う。クリプトスポリジウムは耐塩素性の病原性生物であり、水処理にはろ過工程が必須となる。

- 経年化管路

布設後、相当年数経過した管路のこと。一般に使用年数の経過とともに劣化し、破損や腐食による漏水のおそれや濁り水の原因となる。

- 硬度

水中のカルシウムイオンとマグネシウムイオンの合計量を、これに対応する炭酸カルシウムの mg/L に換算して表示したもので、一般的には総硬度のことをいう。硬度が高すぎると下痢の原因となったり、石けんの洗浄効果が低下する。水質基準は 300mg/L 以下、快適水質項目としての目標値は 10mg/L 以下である。

## 〈さ行〉

- 残留塩素

水中に塩素を注入することによって水中に残留した有効塩素をいう。衛生上の措置として、水道法では、給水の残留塩素を遊離残留塩素 0.1mg/L（結合残留塩素の場合は 0.4mg/L）以上保持するよう規定している。

- ジェオスミン

放線菌又は藍藻類等によって産生される異臭味物質のこと。カビ臭を呈する。

# 用語集

---

- 指定工事事業者制度

水道法第 16 条の 2 に基づいて、水道事業者が給水装置の構造及び材質が政令で定める基準に適合することを確保するため、当該水道事業者の給水区域において給水装置工事を適正に施行できる者を指定する制度。

- 受水

水道事業者が水道用水供給事業から浄水（水道水）の供給を受けること。

- 臭気度

検水の臭気をほとんど感知できなくなるまで無臭味水で希釈し、その希釈倍率によって示される臭気の強さこと。快適水質項目としての目標値は 3 以下である。

- 浄水場

浄水処理に必要な設備がある施設。水源により浄水方法は異なるが、一般的に浄水場内の施設として、着水井、凝集池、沈澱池、ろ過池、薬品注入設備、消毒設備、浄水池、排水処理施設、管理室などがある。

- 蒸発残留物

水を蒸発乾固したときに残る物質。水質基準では 500mg/L 以下であることとされており、通常 of 自然水はこれ以下である。又、快適水質項目としての目標値は 30mg/L 以上 200mg/L 以下である。

## 〈た行〉

- 東南海・南海地震

東南海地震は、遠州灘から紀伊半島沖の海域で周期的に発生する海溝型地震。規模はマグニチュード 8.0 前後に達する巨大地震で約 100 年から 150 年周期で発生している。

南海地震は、紀伊半島熊野灘沖の海域から四国南方沖で周期的に発生する海溝型地震。規模はマグニチュード 8.0 前後に達する巨大地震で約 100 年から 150 年周期で発生している。

東南海地震と南海地震の発生時期が接近していることから両地震が連動していると指摘されている。

# 用語集

---

- 着水井

浄水場などへ流入する原水の水位動揺を安定させ、水位調節と流入量測定を行うために設ける池のこと。

- トリハロメタン

メタン構成する 4 個の水素原子のうち 3 個が塩素、臭素、あるいはヨウ素に置換された有機ハロゲン化合物の総称のこと。

## 〈は行〉

- 配水池

給水量は 1 日のうちでも朝や入浴時にたくさん使い深夜はほとんど使わないなど、時間によって変化する。しかし浄水処理はなるべく一定の水量で行うことが望ましいため、これらの差を調整するために設ける池を配水池という。

- フロック形成池

凝集沈澱処理の沈澱処理の前段でフロック形成を行うための池。フロックを成長させるための緩速かくはんを行うために、フロキュレータなどの機械を用いる方式と水流の損失水頭をかくはんエネルギーとして利用する迂流式などがある。

## 〈や行〉

- 有収水量

配水量のうち、漏水や消火用水として失われることなく、料金徴収の対象となった水量をいう。

- 遊離炭酸

水中に溶解している二酸化炭素のこと。遊離炭酸は炭酸塩や有機物質が分解して発生した二酸化炭素や空気中の二酸化炭素などが水中に溶解することに起因する。快適水質項目としての目標値は 20mg/L 以下である。